



The Magic of ROTARY ロータリーのマジック

2024～25 年度年度
国際ロータリー会長 Steohanie Urchick



Rotary
東京麹町

東京麹町ロータリークラブ

本日の例会プログラム

第 22 回例会 2025.2.17 (#2437) 舞の間
例会ホスト・紹介係 藤田会員
受付係 地引会員 吉田会員
司会者 山田会員 ソングリーダー 鄭会員

卓話「情報の信頼性・

40 余年のリサーチャーの視点から」
(株)ソッパースファースト代表取締役 打田 光代氏
紹介者 荒川会員

前回の報告

第 21 回例会 2025.2.3 (#2436) 麗の間
例会ホスト・紹介係 園田会員
受付係 保科会員 乳井会員
司会者 山田会員 ソングリーダー 木寅会員

卓話「人生いろいろ、人それぞれ

～多様性を生かすこと」
増山 & Company(株)代表社員社長 増山 美佳氏
紹介者 荒川会員

今期のモットー：「親睦を通じて奉仕を実践する」

会長報告

- 1) 本日は、増山様に、多様性について卓話をいただきます。後ほどよろしく申し上げます。
- 2) いよいよ明後日はポリオ根絶チャリティーコンサートです。先週のポリオ根絶運動についての勉強会では再認識されたと思います。どうぞご協力ください。
- 3) 本日は、米山奨学生の李さん、青少年交換学生の高瀬さんが出席です。

幹事報告

- 1) 明後日のチャリティーコンサートでは、始まる前にお手伝いしていただける方はお申し出下さい。
- 2) 東京RCの熊平様より全国のロータリークラブへ寄贈される抜粋のつづりを配布しました。ご高覧ください。
- 3) ロータリー財団より、確定申告用寄付領収書を各自に配布しました
- 4) 例会終了後に定例理事会が御座います。該当の方はお残りください。
- 5) 4月の地区大会にはどうぞ御参加下さい。

チャリティーコンサートでは色々なジャンルの曲やラジオ体操をしたり
楽しいひと時でした。



例会記録

会員総数 58名 出席会員数 25名
ゲスト 0名 ビジター 8名
その他 2名 海外ビジター 0名
事務局 2名

ニコニコボックス

荒川会員：増山様、卓話を宜しく。
5 日のチャリティーコンサートにご協力下さい。
結婚記念日：荘村会員(6 日)
パートナー誕生日：時園会員(11 日)
誕生日：須藤会員(1 日)時園会員(2 日)
齊藤会員(27 日)

次回予告

第23回例会 2025、3、3(#2438)

会場：舞の間
例会ホスト・紹介係 吉沢会員
受付係 藤田会員 齊藤会員
司会者 保科会員
ソングリーダー 山田会員

卓話「食料と競馬に関する

最近の話題」

日本中央競馬会副理事長 山口 英彰氏
紹介者 荒川会員

日本のエネルギーを考える～水素社会に向けた課題

東京ガス代表執行副社長 糟谷 敏秀氏(1/20 卓話 荒川会員紹介)

エネルギー業界ではシステム改革や自由化が進み、競争が非常に激しくなっています。電力会社をはじめさまざまな企業がガス分野に参入しており、私たち東京ガスもガスだけでなく、電力も販売しています。

日本のエネルギー消費は減少傾向にあり、2013～2022年の10年間で、原油換算で15%余り減少しました。温室効果ガス排出量もこの10年で22.9%減少しており、2030年に2013年比43%削減という目標に対して順調に進捗していますが、2050年ネットゼロに向けて今後もこのまま削減が進むかどうかは予断を許さない状況です。

エネルギー消費を部門別に見ると、業務用16%、家庭15%、運輸24%で、残りの45%が産業界です。エネルギー源別では電力が約3割で、残りの7割を燃料などの熱等が占めています。電力の脱炭素化に向けて再生可能エネルギーの活用拡大やカーボンオフセットの検討が進められていますが、一番の課題はエネルギー源の7割を占める熱等の脱炭素化となります。

その選択肢の一つが電化ですが、200℃以上の熱を必要とする高温熱分野、特に1000℃以上の輻射熱の領域は電力だけではうまくいかないため、化石燃料が用いられています。そこで、石炭や石油を天然ガスに置き換えることができ、脱炭素化を図ることもできる燃料として期待されているのが水素なのです。

水素には、製造方法によって色の名前が付いています。グレー水素、ブラウン水素、ブラック水素は化石燃料から二酸化炭素を外して生成される水素で、外した二酸化炭素は大気中に排出されます。ブルー水素も同じく化石燃料から作る水素ですが、外した二酸化炭素は回収して地中に埋めます。グリーン水素は再エネを使って水を電気分解して作る水素で、中でも原子力エネルギーを使ったものはピンク水素と呼ばれます。ターコイズ水素は、メタンから固体炭素を取り出して作る水素です。他にも、量は少ないのですが天然水素のホワイト水素やゴールド水素もあります。

脱炭素化に最も有効なのはグリーン水素ですが、日本では必要な水素を全て太陽光や風力で作り出

すことができないため、海外で生成されたグリーン水素を輸入する必要があります。そのための方法が現在四つほどあります。

一つ目が、冷却して液化した水素をタンクで運ぶ方法です。水素をマイナス253℃に保つ必要があり、大量輸送・貯留がまだまだ困難です。

二つ目は、水素をトルエンと反応させてMCHという物質にして運ぶ方法です。これはエネルギーロスが大きいことが課題です。

三つ目は、水素と窒素を反応させてアンモニアにして運ぶ方法です。アンモニアは運ぶときの温度がマイナス33℃と他の方法に比べて高いのですが、毒性が高く、タンク外に漏れると臭いだけでなく健康に有害です。

四つ目は、水素と二酸化炭素を反応させてメタンにして運ぶメタネーションという方法です。天然ガスを液化して運ぶ方法と同じインフラが使えるため、日本の都市ガス業界では最も有力な選択肢として取り組みを進めていますが、コストが高いという問題があります。

いずれにしてもエネルギーは環境の観点だけでなく、安全性・安定供給・経済性も非常に重要です。特に今後はデジタル化、AIの利用が進むと、電力使用量が大きく増えることが見込まれます。必要量を確保し、経済合理的な価格で供給しながら、二酸化炭素を抑えなければいけないわけです。

日本のガス業界は、2030年に都市ガスの1%を合成メタンにすることを目標に、メタネーションのコスト低減に向けた取り組みを進めています。簡単ではありませんが、このような方向で取り組みを進めているということをご紹介しました。

東京麹町ロータリークラブ

設立	1968年6月17日	〒102-0093
例会日	月曜日 12:30	千代田区平河町 1-3-8
例会場	ホテル・ニューオータニ	平河町プラザ 204号
		TEL:03-3263-9220
会長	荒川 和幸	FAX:03-3263-9122
幹事	守屋 幸作	e-mail office@koujimachi-rc.jp
公共イメージ 向上委員長	保科 充弘	URL: www.koujimachi-rc.jp